

Ⅲ-1 子どものほめ方、叱り方を考えてみましょう

【プログラムのねらい】

・実際にありそうな場面を想定して、子どものほめ方と叱り方について考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <p>・グループ分け(4~5人のグループに分ける)</p>	P2「アイスブレイキング各種」参照
30分	<p>▶ Work</p> <p>エピソード1を読み、「子どものほめ方と叱り方について」について考える。</p> <p>・幸子さん・子ども会役員・幸子さんのお母さん・観察者の役割を決めて、ロールプレイを行う。</p> <p>※各役割を演じた感想を発表する。</p> <p>・もし自分が幸子さんのお母さんであれば、どのような言葉を掛けるのか、理由とともに発表する。</p> <p>※頑張る気持ちをほめつつも、協力を申し出る人の気持ちに感謝する心が幸子さんに芽生えるような言葉掛けを皆で考える。</p> <p>・エピソード2を読み、お菓子を食べるきょうだい・注意をする別の家族の父親・注意を受けるきょうだいの母親・観察者の役割を決めて、ロールプレイを行う。</p> <p>※各役割を演じた感想を発表する。</p> <p>・最後の母親の言葉が子どもたちにどのような影響を与えるかを考え、発表する。</p> <p>※母親が、観劇中にお菓子を食べてはいけないことをあらかじめ子どもに分かるように諭しておくべきである。他人から注意を受けた場合には、素直に謝罪するだけでなく、感謝の気持ちを添えると、お互いに心地よいことを知ることも大切である。</p>	ワークシート 筆記用具 役割分担名札 可能なら、新聞の束を用意
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <p>・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。</p> <p>・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。</p>	振り返りシート

III-2 言っただけでできるようになる子どもはいません

【プログラムのねらい】

・子どもが自分から整理整頓に取り組むようになる方法や言葉掛けを考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け(4～5人のグループに分ける) 	P2「アイスブレイキング各種」参照
30分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み上げ、太郎君・お母さん、観察者の役割を決めて、ロールプレイを行う。 ※各役割を演じた感想を発表する。 ・お母さんの今までの対応について話し合う。 ・部屋の片付け方を教える手順や留意点を考える。 ※「言って聞かせ・・・」の言葉に沿って手順や留意点をまとめ発表する。 ・グループで話し合い、意見をまとめる。 ※資料「家庭で守らせている決まりやルール」を参考に、片付け以外のルールについても話し合う。 ・各グループで出された意見を発表する。 ※子どもが進んで片付けるようになるアイデアを積極的に出すようにする。 	<p>ワークシート 筆記用具 役割分担名札</p> <p>「言って聞かせ・・・」の言葉の掲示</p> <p>資料</p>
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート

Ⅲ-3 子どもの感受性にどう向き合いますか

【プログラムのねらい】

- ・子どもは感受性が豊かで、高い吸収力を持っていることに気づき、子どもに向き合う姿勢を考える。
- ・他人の気持ちを考えることのできる思いやりの心を育てるための親の関わりについて考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け(数人のグループに分ける) ・自己紹介を行い、互いの共通点をなるべく多く探し出す。 ・各グループでどんな共通点が見つかったか発表する。 	P2「アイスブレイキング各種」参照 名札
30分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み上げ、子どものころに経験したことを思い出して①②を記入し、発表する。 ※からかう、からかわれた経験、あるいは近くで起こっていたことを思い出して書き、話し合う。 ・4人の意見を読み、自分の考えをまとめる。 ・どうしてそう思ったかをグループで話し合う。 ・エピソード2を読み、それぞれの親の立場になってどのような対応をするか、自分の考えを記入する。 ・各自の声掛けを理由とともに発表し、話し合う。 ・グループの意見をまとめる。 	ワークシート 筆記用具
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート

Ⅲ-4 子どものゲームについてどう思いますか

【プログラムのねらい】

・ゲームをする子どもが増加している現代、子どものゲーム機との付き合い方について考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け（4～5人のグループに分ける） ・自己紹介を行い、雰囲気作りをする。 	P2「アイスブレイキング 各種」参照 名札
30分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソード1を読み、気になることや感想を記入する。 ・各家庭のゲーム事情を発表し、問題点を明らかにする。 ・エピソード2を読み、雄太君・母親・観察者の役割を決めて、ロールプレイを行う。 ※各役割を演じた感想を発表する。 ・子ども自身がルールを決めるには、親としてどのような働き掛けが必要かを考え、発表する。 ※現在の子どもたちの状況を考えるとき、ゲーム機から遠ざけることは難しいと考えられる。しかし、ゲームのやり過ぎが心身に及ぼす影響も問題になっている。ゲームと上手に付き合う方法を子どもと一緒に考える姿勢が大切である。 	ワークシート 筆記用具
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート

Ⅲ-5 早寝・早起き・朝ごはん

【プログラムのねらい】

- ・社会環境等の変化に伴い、子どもの生活を取り巻く様々な問題が生じていることを知る。
- ・毎日の生活習慣、特に朝食の大切さについて理解し、生活を見直すための方向を考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け(4~5人のグループに分ける) ・自己紹介を行い、子どもが好きな食べ物、メニューなどを紹介し、その時の子どもの姿などを話す。 	P2「アイスブレイキング各種」参照 名札
30分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、気になることや感想を記入する。 ・グループで話し合いをする。 ・早寝早起きをするためにはどんな工夫があるかを考え、グループで話し合う。 ・「子どもの学力と家庭生活」を見て、気付いたことを話し合う。 	ワークシート 筆記用具
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスを読み、感想を発表する。 ※時間があれば、現代の子どもの食事の特徴「孤食・個食・固食・粉食・子食・濃食・小食」について話し、家庭での今後の食生活を考える話題を提供する。 ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート